

第29回 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会	資料
令和 6 年 1 2 月 3 日 ( 火 )	No. 1

第21回 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業 運営委員会ワーキング・グループ	資料
令和 6 年 1 0 月 7 日 ( 月 )	No.2 一部改変

保険者支援ステージ・支援指標（案）について

国民健康保険中央会  
保健福祉部保健事業課

## 目 次

1. 保険者支援の現状と戦略的支援の必要性	・・・ P	2
2. ご意見いただきたい事項	・・・ P	4
3. 国保連合会による戦略的支援とは（案）	・・・ P	5
4. 保険者別及び都道府県全体の取組状況把握（案）	・・・ P	10
5. 今後の進め方（案）	・・・ P	16

### <参考資料>

・ 参考1 ヘルスサポート事業の概要	・・・ P	18
・ 参考2 ヘルスサポート事業を取り巻く制度等の動き	・・・ P	19
・ 参考3 国保中央会の取組	・・・ P	23
・ 参考4 国保連合会による保険者支援	・・・ P	24
・ 参考5 国保連合会における支援指標等の現状	・・・ P	25

### <補足>

第21回国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会ワーキング・グループ （令和6年10月7日）からの変更	・・・ P	27
--	-------	----

# 1. 保険者支援の現状と戦略的支援の必要性

## 保険者支援の環境変化と量から質への支援

1. 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業（以下「ヘルスサポート事業」という。）開始以来10年以上が経過し、ヘルスサポート事業による市町村国保への累積支援保険者数は全国的に9割を超えており、保険者におけるデータに基づく保健事業の実施が普及する一方で、支援ニーズの多様化や、民間機関等の保険者支援への参入が進むなど、ヘルスサポート事業を取り巻く環境は大きく変化している（参考1、参考2参照）。
2. ヘルスサポート事業報告によれば、都道府県により支援率に差がある、あるいは小規模市町村は支援率が低いなど、国保連合会ごとの取組状況に違いがある。また、保険者支援を行うにあたり、中長期（3年以上）の計画で支援目標を立てているのは20連合会（42.6%）、単年度計画での支援目標を立てているのは31連合会（66.0%）にとどまっており、保険者支援計画における目標設定とそれに基づくPDCAの実施についても取組に差があるのが現状である※1。
3. 国保連合会には、これまでの量的な支援から保健事業の効率化やPDCAの推進等による質的な支援の向上が求められている。

## 保険者の保健事業への取組の差やニーズの多様化への対応

1. 保険者における保健事業への取り組みは進んでいるものの、保険者の規模や体制等によって、その取組の内容に差が生じており、小規模保険者を中心に、ヘルスサポート事業の支援を受けるための保健事業の取り組み体制が整わず、国保連合会の支援対象となっていない保険者が存在する。
2. 一方で、保健事業の取組の進展に伴い、求める保険者支援の内容も多様化している。
3. 国保連合会においては、こうした保険者の状況の差に応じた支援を行っていくことが求められており、累積支援率による支援の有無だけでなく、多様な状況にある保険者に対する支援の実施や成果をとらえることが必要である。
4. また、ヘルスサポート事業報告において、保険者支援の実施内容に基づく成果など客観的な評価指標を求める意見があがっているものの、その取組は未だ発展途上の段階にあるといえる。

※1 出典：令和5年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書の取りまとめ（国保中央会）

### 第3期データヘルス計画策定をめぐる動きと戦略的支援の強化

1. 国において、都道府県や後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）による標準化の取組の推進や評価指標の設定等について整理し、「データヘルス計画策定の手引き（国保・後期）」が令和5年3月、5月に改訂された。都道府県や広域連合が主体的にデータヘルス計画に取り組み、関係機関との役割分担に基づき、保健事業を進めていく必要がある。
2. 令和6年度は、第4期特定健康診査等実施計画、第4期医療費適正化計画等、データヘルス計画と関連が深い事業の法定計画の計画期間が新たにスタートする年度にあっており、第3期データヘルス計画は、これらの計画と内容の調和を図り効率的に事業を進める必要がある。
3. 本会が令和5年4月に改訂したヘルスサポート事業ガイドラインのなかで、多様化する保険者ニーズに対応するとともに、今後の支援の方向性として**国保連合会の戦略的支援**（中・長期的に実現していく将来像を目標として定め、その達成に向けてPDCAに基づく支援を行うこと）の強化を挙げている。

### 戦略的支援における保険者支援ステージと支援指標の必要性

1. 国保連合会が戦略的支援を行うためには、自分の立ち位置や都道府県内の保険者の状況を客観的に評価し、発展につなげるための道筋やゴールを明確にする必要がある。そこで、以下の2つの目的で「**保険者支援ステージ**」と「**支援指標**」を定義する。
  - ・自らの状況と強み・弱みを客観的に把握し、発展につなげる
  - ・多様化する保険者の状況やニーズに応じた支援を実現していく
2. 国保中央会は、自己点検のための一つのツールとして保険者支援ステージ・支援指標を示すとともに、ヘルスサポート事業報告等を通じて保険者支援の状況把握を行う。報告結果を踏まえ国保連合会への支援内容や方策を検討することで、必要な国保連合会へのサポートを行う。

## 2. ご意見いただきたい事項

### 保険者支援ステージ・支援指標について

- 論点①** 連合会による戦略的支援、保険者支援ステージ及び支援指標の定義（P.5参照）について、この内容で問題ないかご意見をいただきたい。
- 論点②** 国保連合会の戦略的支援の全体像、保険者支援ステージ及び戦略的支援指標の考え方（P.7～9参照）について、この内容で問題ないかご意見をいただきたい。
- 論点③** 保険者別及び都道府県内の支援対象保険者全体の取組状況把握の考え方（P.10～15参照）について、この内容で問題ないかご意見をいただきたい。

### 3. 国保連合会による戦略的支援とは（案）

国保連合会による戦略的支援とは、中・長期的に実現していく将来像を目標として定め、その達成に向けてPDCAに基づく支援を行うことである。

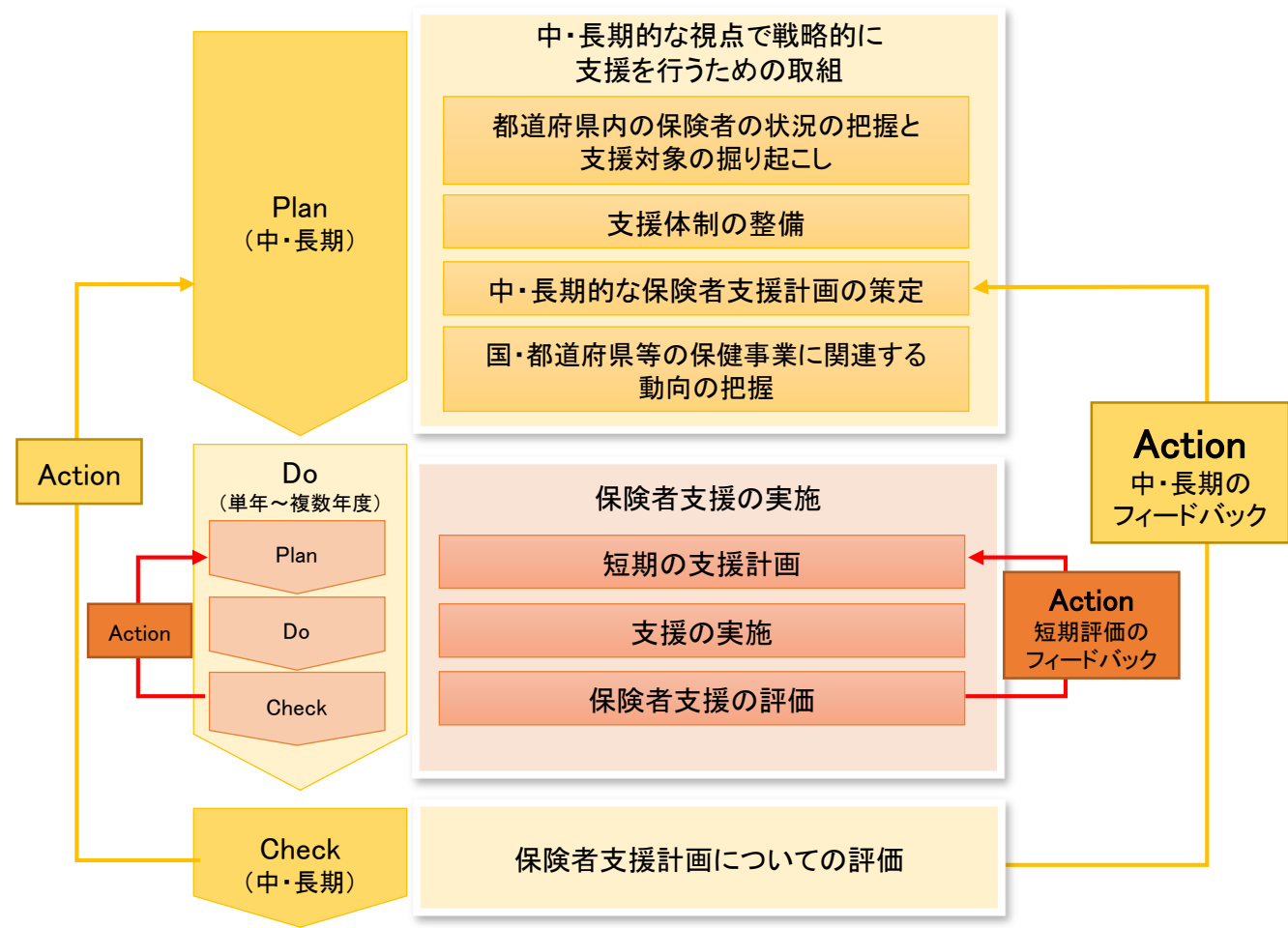
国保連合会が戦略的支援を行うために自らの状況と強み・弱みを客観的に把握し、発展につなげるための仕組みとして「保険者支援ステージ」と「支援指標」を以下のとおり作成することとしたい。

項目	定義	ねらい
保険者支援ステージ	国保連合会による戦略的な保険者支援を実現するためのステージ。	国保連合会が自らの状況を的確にとらえ、支援の対象や目標を明確にしてそれを意識して保険者支援をより発展させていく。
支援指標	<p>保険者支援ステージに即して国保連合会がどの程度保険者を支援できたかを客観的に示す共通の支援指標。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>国保連合会の戦略的支援指標</b> 国保連合会がどの程度戦略的支援を実現しているかをとらえる指標。</li> <li>・<b>保険者の状況把握指標</b>（保険者の状況把握指標、都道府県全体の状況把握指標） 保険者別の取組状況、および都道府県内の支援対象保険者全体での取組状況をとらえる指標。</li> </ul>	支援指標をもとに適切な評価、改善（C→A）を行う。また、年度単位・中長期の計画を立てることでPDCAを回していくことにつなげる。

# 国保連合会による戦略的な保険者支援の流れ

国保連合会による戦略的な保険者支援の流れを以下に示す。  
国保連合会は、中長期的な視点で支援計画を立てたうえで、年度単位でPDCAを回していく。

## 保険者支援の流れ（支援のPDCA）



- ・国保連合会は、戦略的支援を行うために自分がどの保険者支援ステージにいるかを確認し、目標を設定し評価する。
- ・保険者支援にあたっては、都道府県等との関係機関とも連携しながら、地域全体での支援を行う必要がある。
- ・支援目標に基づき、国保連合会が対象となる保険者を多角的に判断し、支援する保険者を決定する。
- ・保険者の保健事業の効率化や質向上につながる支援ができるよう、保険者ごとに最終目標を決めたうえで、各保険者の状況に応じた支援を行う。
- ・保険者別の支援状況を集約し、都道府県内の支援対象保険者全体の支援状況进行评估する。

## 保険者支援ステージの各段階における支援

（市町村国保が保健事業を実施する場合）

### 《支援ステージ1》 立上段階

保険者からの依頼に基づく支援／保険者への情報提供

### 《支援ステージ2》 実行段階

保険者の課題・顕在的ニーズの把握／短期的な視点に基づく支援

### 《支援ステージ3》 推進段階

保険者の潜在的ニーズの把握／中長期的な視点に基づく支援

### 《支援ステージ4》 継続段階

より高度化した保険者の課題への対応、改善に向けた支援

評価に用いる  
支援指標

戦略的支援  
指標

### A. 保険者別の支援

※支援ステージ1～4において実施

A. 保険者の状況把握指標

### B. 都道府県内の支援対象保険者全体を見渡した支援

※支援ステージ3、4において実施

B. 都道府県全体の状況把握指標

## 国保中央会による支援

国保中央会は、ヘルスサポート事業運営委員会や国保連合会、保険者向けの研修会等を通じて国保連合会が保険者を円滑に支援できるよう、積極的に支援する。



## 国保連合会の戦略的支援指標（イメージ）（1／2）

国保連合会はより戦略性の高い支援を実現するため、支援のPDCAを踏まえて、支援の量や質の全体像を見据えて方向性や考え方を整理し、支援ステージにより自らの段階を確認しより高い段階を実現するため、目標を立てて支援に取り組む（自己点検を行うツールとして活用）。

項目	《支援ステージ1》 立上段階	《支援ステージ2》 実行段階	《支援ステージ3》 推進段階	《支援ステージ4》 継続段階
①保険者からの依頼に基づき支援しており、保険者への情報提供を行っている。	○	○	○	○
②地域の健康課題を明確にとらえ、地域の特性を踏まえた保険者支援を行っている。		○	○	○
③都道府県との連携体制を構築し、役割分担が明確にできている。		○	○	○
④地域の健康課題を踏まえ、その対応策としての年度単位の支援計画を立てている。＊		○	○	○
⑤年度単位で保険者支援の目標設定、評価、次年度への反映を行っている。＊		○	○	○
⑥年度単位で保険者から連合会の支援内容について客観的な評価を受けている。		○	○	○
⑦各保険者の立ち位置を把握している。			○	○
⑧都道府県以外の複数の関係機関（民間事業者を含む）との連携体制を構築している。			○	○
⑨地域の健康課題に即して、中長期の目標を明確にした支援計画を立てている。＊			○	○
⑩中長期計画について定期的に保険者支援の評価・見直しを行っている。＊			○	○
⑪中長期の単位で保険者から連合会の支援内容について定期的に客観的な評価を受けている。			○	○

＊ ④、⑤は短期の支援計画。⑨、⑩は中長期の支援計画。

## 国保連合会の戦略的支援指標（イメージ）（2／2）

項目	《支援ステージ1》 立上段階	《支援ステージ2》 実行段階	《支援ステージ3》 推進段階	《支援ステージ4》 継続段階
⑫保険者のより高度化した課題に対応し、改善に向けた支援を行っている。				○
⑬未達の目標に対して実現のための対策を検討し、達成した目標に対して国保連合会として新たな目標設定をしている。				○

※国保連合会における支援指標の現状については、参考4（P.24）参照。支援指標の具体例については、今後検討予定。

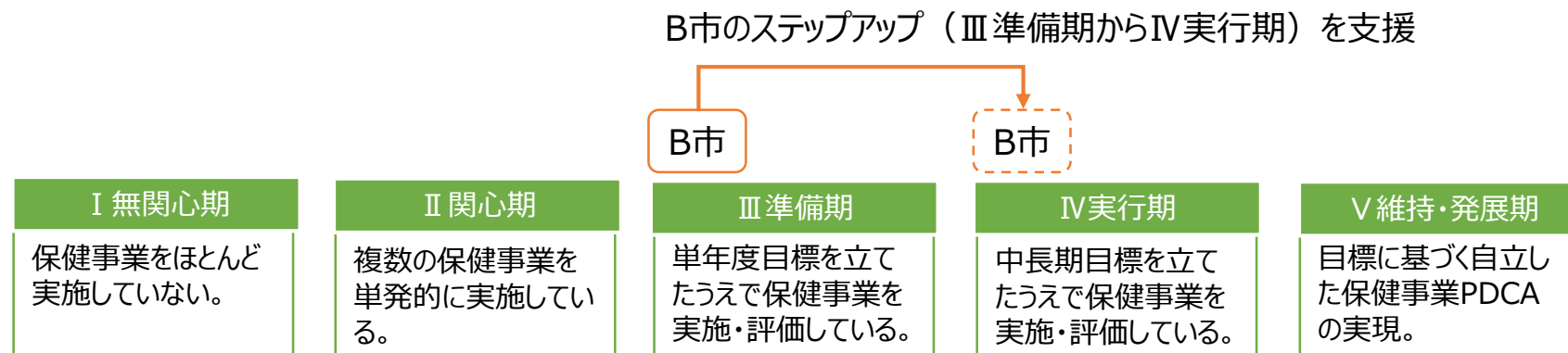
## A. 保険者別の支援（1 / 4）

国保連合会は、ステップアップを目標に掲げた保険者を対象に、支援目標に基づき保険者ごとの課題・ニーズ等を踏まえて適切に支援する。

なお、各保険者が目指しているステップを客観的に把握し、体制等の状況に応じて設定するものであり、必ずしも一律に設定するものではない。

また、担当者の異動等によりステップが後退しないようにするために、国保連合会による継続的な支援が必要である。

### 例 X県連合会におけるB市の支援



※各ステップの名称は、行動変容ステージモデルをもとに作成。

## A.保険者別の支援（2／4）

### 保険者の状況把握指標（例）

取組項目	I 無関心期	II 関心期	III 準備期	IV 実行期	V 維持・発展期
①国保連合会に支援を依頼しており、国保連合会から情報提供を受けている。		○	○	○	○
②地域の健康課題を踏まえ、その対応策としての年度単位の保健事業計画を立てている。*			○	○	○
③年度単位で保健事業の目標設定、評価、次年度への反映を行っている。*			○	○	○
④国保連合会の支援について、年度単位で客観的な評価を行っている。			○	○	○
⑤地域の健康課題に即して、中長期の目標を明確にした保健事業計画を立てている。*				○	○
⑥中長期計画について定期的に保健事業の評価・見直しを行っている。*				○	○
⑦国保連合会の支援について、中長期的な観点で定期的に客観的な評価を行っている。				○	○
⑧より高度化した課題に対応し、改善に向けた取組を行っている。					○
⑨未達の目標に対して実現のための対策を検討し、達成した目標に対して保険者として新たな目標設定をしている。					○

\* ②、③は短期の支援計画。⑤、⑥は中長期の支援計画。

※支援指標の具体例については、今後検討予定。

## A.保険者別の支援（3／4）

### 保険者の状況把握指標による評価（自己点検）

自己点検のための一つのツールとして、保険者別の支援において、支援計画策定時に取組項目を決めておき、評価時に予定通り達成できたかどうかで取組達成率を判断する。

$$\{ (\text{各保険者における取組達成数}) / (\text{各保険者における取組項目数}) \} \times 100$$

= 取組達成率（％）

例 B市の場合（Ⅲ準備期→Ⅳ実行期）

2024年度計画策定	Ⅳ実行期①～⑦について取組達成を目指す。
2024年度評価	Ⅳ実行期①～⑥について取組達成。

$$\frac{\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} + \text{⑤} + \text{⑥}}{\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} + \text{⑤} + \text{⑥} + \text{⑦}}$$

取組達成率  
85.7%

取組項目	Ⅰ 無関心期	Ⅱ 関心期	Ⅲ 準備期	Ⅳ 実行期	Ⅴ 維持・発展期
①国保連合会に支援を依頼しており、国保連合会から情報提供を受けている。		○	○	○	○
②地域の健康課題を踏まえ、その対応策としての年度単位の保健事業計画を立てている。*			○	○	○
③年度単位で保健事業の目標設定、評価、次年度への反映を行っている。*			○	○	○
④国保連合会の支援について、年度単位で客観的な評価を行っている。			○	○	○
⑤地域の健康課題に即して、中長期の目標を明確にした保健事業計画を立てている。*				○	○
⑥中長期計画について定期的に保健事業の評価・見直しを行っている。*				○	○
⑦国保連合会の支援について、中長期的な観点で定期的に客観的な評価を行っている。				○	○
⑧より高度化した課題に対応し、改善に向けた取組を行っている。					○
⑨未達の目標に対して実現のための対策を検討し、達成した目標に対して保険者として新たな目標設定をしている。					○

## A.保険者別の支援（４／４）

### 保険者の状況把握指標による評価（保険者から見た評価）

支援を受けた保険者から見て国保連合会による支援がどうだったかを評価する。

保険者の状況把握指標（例）

- ・ 保険者の満足度（支援・評価委員会の助言内容、助言による事業への活用、支援実施時間、研修会の内容等）
- ・ 保険者ニーズ（PDCA）の解決状況

例

分類	項目	内容
保険者の満足度	①支援・評価委員会の助言内容	1：大変満足 2：まあ満足 3：やや不満 4：不満
	②支援・評価委員会の助言による事業への活用	1：十分活用できた 2：活用できた 3：十分に活用できなかった 4：不十分
	③支援・評価委員会の支援実施時間	1：十分 2：不十分
	④研修会の内容	1：大変満足 2：まあ満足 3：やや不満 4：不満
⋮	⋮	⋮

※国保連合会における支援指標「保険者による評価」（P.25）をもとに作成。保険者の状況把握指標の具体例については、今後検討予定。

## B.都道府県内の支援対象保険者全体を見渡した支援（１／２）

保険者別の支援状況を踏まえ、都道府県内の保険者全体の支援の達成状況を評価する。  
ここでは、自己点検のための一つのツールとして、保険者支援率、ステップアップ率による評価を取り上げる。

### 例 X県連合会が都道府県内の支援対象保険者全体の取組状況を評価

都道府県内の支援対象となる９市町村の取組達成状況（保険者支援率）、ステップアップの目標を掲げている４市町村におけるステップアップの達成状況（ステップアップ率）により取組状況を評価。

支援対象保険者	支援対象保険者の 取組達成率	ステップアップを目標に掲げた保険者	
		ステップアップ目標	ステップアップ実績
A市	100.0%	－	－
B市	100.0%	準備期⇒実行期	目標達成
C町	60.0%	準備期⇒実行期	目標未達成
D市	80.0%	－	－
E市	100.0%	－	－
F市	50.0%	－	－
G市	75.0%	関心期⇒準備期	目標未達成
H市	100.0%	無関心期⇒関心期	目標達成
I市	70.0%	－	－

※保険者支援率、ステップアップ率の算出方法については、次頁参照。

## B.都道府県内の支援対象保険者全体を見渡した支援（２／２）

### 都道府県全体の状況把握指標による評価

都道府県内の保険者において、保険者支援率、ステップアップ率により、支援対象保険者全体の支援をどの程度達成できたか評価を行う。

#### (1)保険者支援率

$$\{ (\text{支援対象保険者の取組達成率の合計}) / (\text{支援対象保険者数}) \} \times 100 = \text{保険者支援率 (\%)}$$

#### 例 1 X県連合会の保険者支援率

$$\frac{100.0\% + 75.0\% + 60.0\% + 80.0\% + 100.0\% + 50.0\% + 75.0\% + 100.0\% + 70.0\%}{9\text{市町村}}$$



保険者支援率  
78.9%

#### (2)ステップアップ率

$$\{ (\text{ステップアップ達成保険者数}) / (\text{ステップアップ予定保険者数}) \} \times 100 = \text{ステップアップ率 (\%)}$$

#### 例 2 X県連合会のステップアップ率

$$\frac{2\text{市町村}}{4\text{市町村}}$$



ステップアップ率  
50.0%

※都道府県全体の状況把握指標の具体例については、今後検討予定。



## 5. 今後の進め方（案）

保険者支援ステージ・支援指標の作成について、以下のスケジュールで進めることとする。

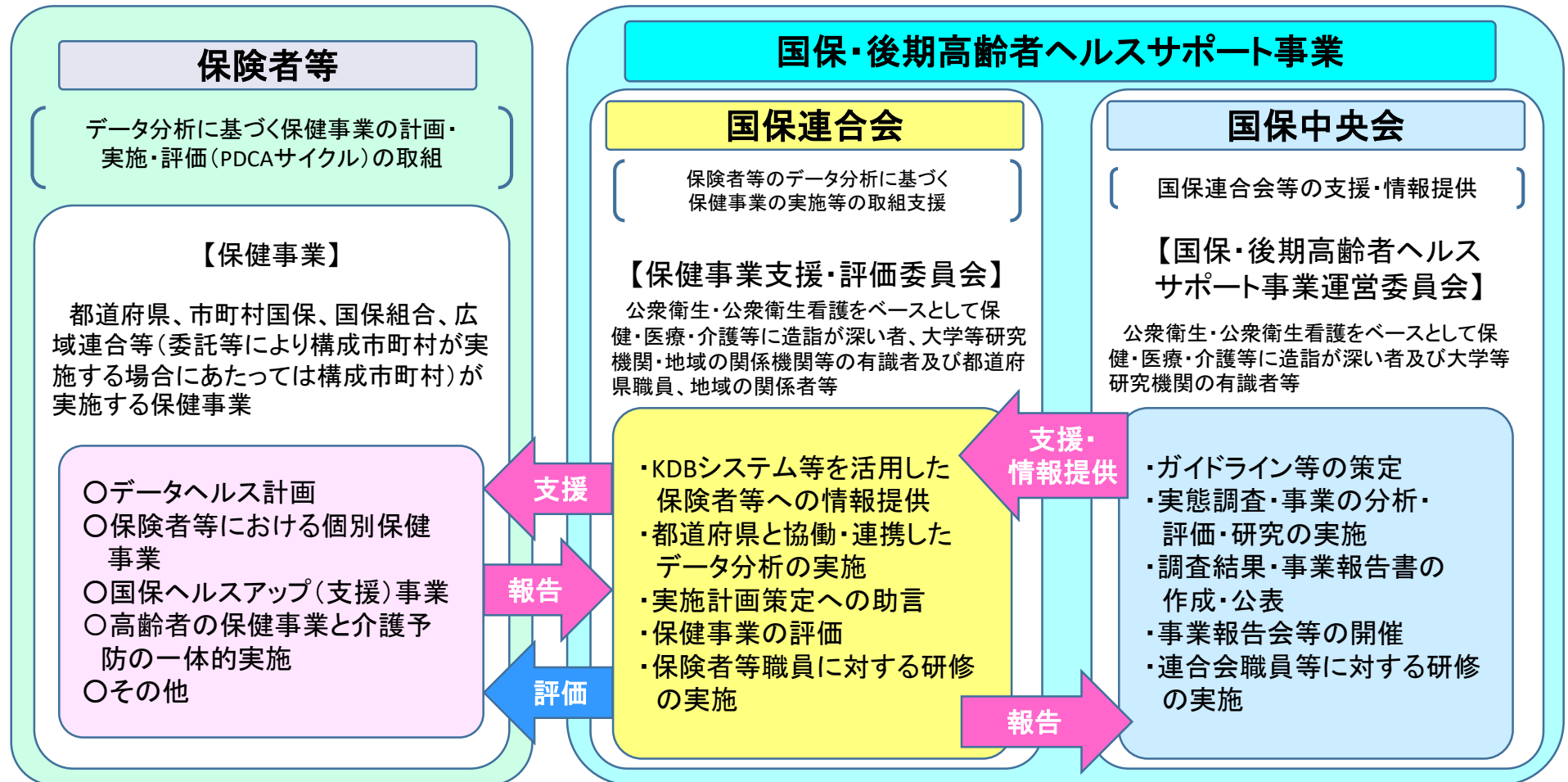
令和6年度						令和7年度	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
★10/7 ヘルサポWG		★12/3 運営委員会  ★12/20 事業報告 会	★連合会保健 師部会  保健事業 ★ ・データヘルス 等推進委員会	国保連合会調査		★運営 委員会	★課部長会議
保険者支援ステージ・支援指標の考え方提示 (本資料)			保険者支援ステージ・支援指標（素案）策定			運営委員 会で検討	

## 参考資料

# 参考 1 ヘルスサポート事業の概要

## ヘルスサポート事業の概要

ヘルスサポート事業は、保険者がPDCAサイクルに沿った効果的・効率的な保健事業を展開できることを目的として各都道府県国保連合会に有識者等からなる支援・評価委員会を設置し、委員が保険者に対して助言・支援を行うものである。



○ 都道府県国保ヘルスアップ支援事業の全て、市町村国保ヘルスアップ事業の一部については、保健事業支援・評価委員会等から評価を受けることが交付要件となっている。

## 参考 2 ヘルスサポート事業を取り巻く制度等の動き

### 最近の動向①

#### 国保、後期高齢者の保健事業の実施指針等の改正

- 保険者等において、第 3 期データヘルス計画の策定を行うにあたり、健康・医療情報の分析に基づく効率的かつ効果的な保健事業が P D C A サイクルに沿って実施されるよう、健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針等の一部が令和 5 年に改正された。
- 令和 5 年改正により、保健事業の評価において共通評価指標を設定することが示された（参考資料 5 - ①）。
- 国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針に示されている、保健事業の実施等における都道府県、国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という）の役割については、参考資料 5 - ②参照。
- 「国保連合会の主な役割」として、給付の適正化や保健事業等を都道府県単位で支援することが示されている（参考資料 5 - ③）。

#### 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

- 高齢者保健事業については、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（以下「一体的実施」という）が令和 2 年度からスタートしており、令和 6 年度までに全市町村で実施することが目標として掲げられている。
- 国保連合会・国保中央会は、ヘルスサポート事業を行うにあたり、広域連合、市町村及び都道府県におけるレセプト・健康診査情報等のデータ分析に基づき高齢者保健事業のPDCAサイクルの取組を支援することが求められている。
- 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針に示されている、高齢者保健事業の実施等における国保中央会、国保連合会の役割については、参考資料 5 - ④参照。

#### 第 3 期データヘルス計画策定に向けた動き

- 令和 6 年度からの第 3 期データヘルス計画の策定に向けて、都道府県等による標準化の取組の推進や評価指標の設定等について整理し、「データヘルス計画策定の手引き（国保・後期）」が令和 5 年に改訂された。
  - ✓ 国保では、都道府県が主体となって標準化を行うことが求められており、保険者は、都道府県の標準化の取組を踏まえデータヘルス計画の策定を行う必要がある。国保の手引きにおいて共通の様式例や共通の評価指標が示されている。
  - ✓ 後期では、後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という）が都道府県内の全体的な状況と合わせて管内の構成市町村の状況を把握し、データヘルス計画の策定を行う。効果的・効率的な保健事業の実施をめざして標準化をすすめるために、構造的な計画様式や共通評価指標が示されている。
  - ✓ 国保連合会は、KDBシステム等を活用し、健康・医療情報を分析して分析結果等を都道府県や保険者に提供するとともに、研修会等を通じた保険者へのKDBシステムの利活用支援を行う。
  - ✓ 保健事業支援・評価委員会（以下「支援・評価委員会」という）は、計画の策定支援や個別の保健事業の実施支援等の実績を踏まえ、これまでの支援経験や構成員の幅広い専門的知見を活用して、保険者への支援等を積極的に行う。

## 最近の動向②

### 第4期医療費適正化計画の見直し 等

- 都道府県は、令和6年度から第4期医療費適正化計画では、医療費の更なる適正化に向けて、新たな目標として、複合的なニーズを有する高齢者への医療・介護の効果的・効率的な提供等が加えられるとともに、既存目標についてもデジタル等を活用した効果的な取組を推進することが示されている（参考資料5－⑤）。
- ✓ 令和6年度は、データヘルス計画と関連が深い事業の法定計画の計画期間が新たにスタートする年度にあっており、第3期データヘルス計画は、これらの計画と内容の調和を図り効率的に事業を進める必要がある（図表1）。

	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	R11(2029) 年度	R12(2030) 年度	...
<b>データヘルス計画</b> (国保保険者、広域連合)	第2期DH計画 評価・計画策定	第3期データヘルス計画 中間評価・見直し						第4期データヘルス計画	
<b>特定健康診査等実施計画</b> (市町村)	第3期特定健康診査等実施計画	第4期特定健康診査等実施計画						第5期特定健康診査等実施計画	
<b>医療費適正化計画</b> (都道府県)	第3期医療費適正化計画	第4期医療費適正化計画						第5期医療費適正化計画	
<b>健康増進計画</b> (都道府県、市町村)	健康増進計画								
	健康日本21(第二次)	健康日本21(第三次) 中間評価							
<b>医療計画</b> (都道府県、二次医療圏)	第7次医療計画	第8次医療計画						第9次医療計画	
<b>介護保険事業(支援)計画</b> (介護保険者、都道府県)	第8期介護保険事業計画	第9期介護保険事業計画			第10期介護保険事業計画			第11期介護保険事業計画	

出典：  
国民健康保険中央会  
「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業ガイドライン」  
(令和5年4月) 一部改変

図表1 データヘルスに関連する法定計画の今後の工程

- ✓ 関連する法定計画（特定健康診査等実施計画、医療費適正化計画、健康増進計画、医療計画、介護保険事業（支援）計画）の概要については、参考資料5－⑤参照。

### 糖尿病性腎症重症化予防事業に関する見直し

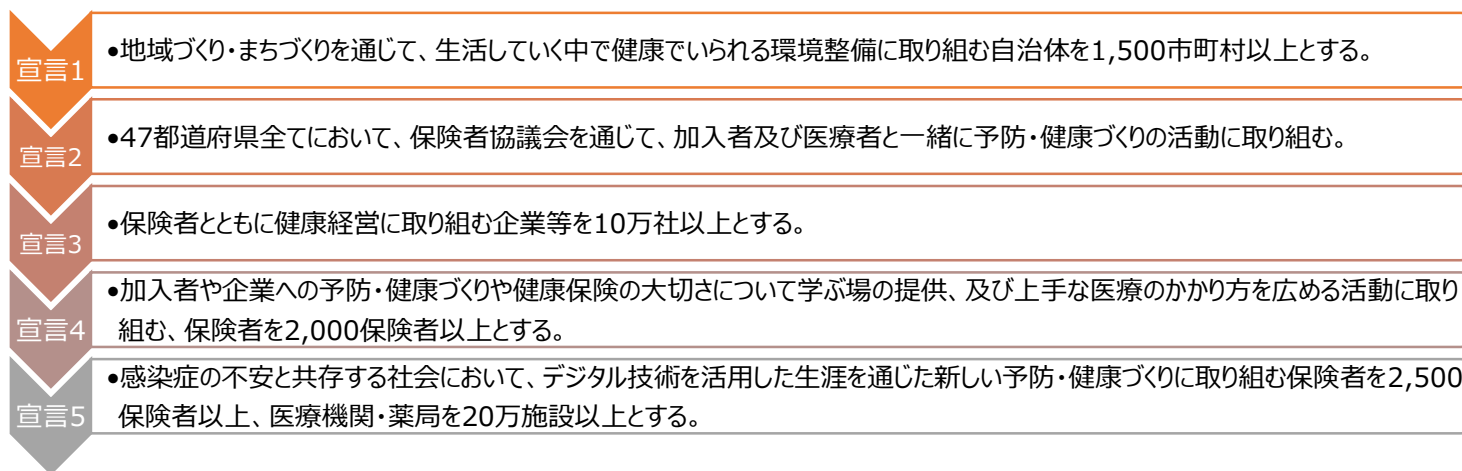
- 令和2年度から令和4年度にかけて、厚生労働省及び経済産業省において予防・健康づくりに関する大規模実証事業（以下「実証事業」という）を実施することとなり、実証事業の一環として、厚生労働省保険局国民健康保険課では糖尿病性腎症重症化予防プログラムの効果検証事業（以下「効果検証事業」という）を実施した。
- 効果検証事業の結果を踏まえ、令和5年度に自治体における重症化予防の取組を一層推進するために、糖尿病性腎症重症化予防プログラム及び糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引きに係る改訂を行う予定。

### 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドラインの見直し

- 厚生労働省において、高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン（第3版）作成に向けて検討中。ガイドライン第二版とガイドライン第二版（補足版）を統合し、一体的実施の進捗状況、データヘルス計画策定の手引きの改訂、厚生労働科学研究の成果等を踏まえ改訂する予定。

### 日本健康会議2025

- 「日本健康会議2025」は、第一期（2015年～2020年）の活動に引き続き、経済団体、医療団体、保険者、自治体などが連携・協力し、職域、地域の創意工夫を生かしながら「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」を達成し、誰もが活躍できる社会を実現していくことを目的とする（参考資料5－⑥）。



図表2 健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025

## 最近の動向④

### 国保連合会・国保中央会における取組

- 「国保連合会・国保中央会のめざす方向2023」（参考資料 5－⑦）において、国保連合会・国保中央会では以下の取組が求められている。
  - ・ 国保連合会について、「KDBシステム等を活用した健康・医療データ分析機関」としての役割を明確に位置付け、市町村等の保健事業支援を強化する。国保連合会職員は、KDBシステム等のデータ分析やデータ利活用における支援を行うために、専門性を高めて支援ができる集団になることが求められている。
- KDBシステムを活用し、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の三地域保険が一体となった予防・健康づくり事業を充実させる。そのために医療・介護DX及び介護情報基盤との連携や保健事業・データヘルス基盤の強化も視野に入れる必要がある（参考資料 5－⑧）。
- 国保・後期だけでなく健康増進、介護保険あるいは被用者保険と連携した支援を行うために、国保連合会・国保中央会間だけでなく、都道府県や広域連合等の関係機関とのより緊密な連携が重要となる。
- 保健師等専門職のマンパワー不足には在宅保健師等会を活用することも有効と考えられる。



## 参考3 国保中央会の取組

国保中央会では、保険者支援の現状・課題を把握するために、令和5年度、令和6年度に以下の会議を開催した。

### 令和5年度「国保連合会保健事業支援・評価委員会」 報告会（令和5年12月20日開催）

- 第一部では、令和5年12月13日よりWebによる動画配信（厚労省行政説明、有識者講演等）を実施。
- 第二部、第三部では、グループごとに意見交換を実施。
  - ✓ 第二部  
**テーマ：国保及び高齢者保健事業の第3期データヘルス計画策定支援の振り返りとこれからの保険者支援について**  
⇒ 8グループに分かれて実施。各都道府県の支援・評価委員、国保連合会事務局がテーマに沿って意見交換を実施。
  - ✓ 第三部  
**テーマ：国保連合会保健事業支援・評価委員会の運営に関する現状や課題について**  
⇒ 8グループに分かれて実施。国保連合会事務局のみがテーマに沿って意見交換を実施。

### 「令和6年度国保連合会保健事業担当課（部）長及び担当者・保険者協議会担当者会議」（令和6年6月4日開催）

- グループワーク開催にあたり、事前アンケートを実施。
- 当日は保健事業担当課（部）長、保健事業担当者の2グループに分かれてグループワークを実施。
  - ✓ **保健事業担当課（部）長**  
**テーマ：連合会保健事業の現状を踏まえた課題と今後の展望について**  
グループ1 被用者保険と連携した事業  
グループ2 KDB等用いたデータの利活用  
グループ3 人材育成  
グループ4 KDB等用いたデータの利活用 人材育成  
グループ5 関係機関都道府県等連携  
グループ6 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業  
グループ7 被用者保険と連携した事業 介護情報を活用した保健事業 他  
グループ8 特定健康診査・特定保健指導 関係機関都道府県等連携
  - ✓ **保健事業担当者**  
**テーマ：国保連合会における国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の保険者支援と支援評価について**  
グループ1 支援を求める保険者の増加  
グループ2 保険者の能力に差がある  
グループ3 保険者の担当者の知識、能力の維持  
グループ4 効果を上げるための適格な支援や助言  
グループ5 効果を上げるための適格な支援や助言  
グループ6 支援を希望しない保険者への対応  
グループ7 保険者側の取り組み体制が整っていない

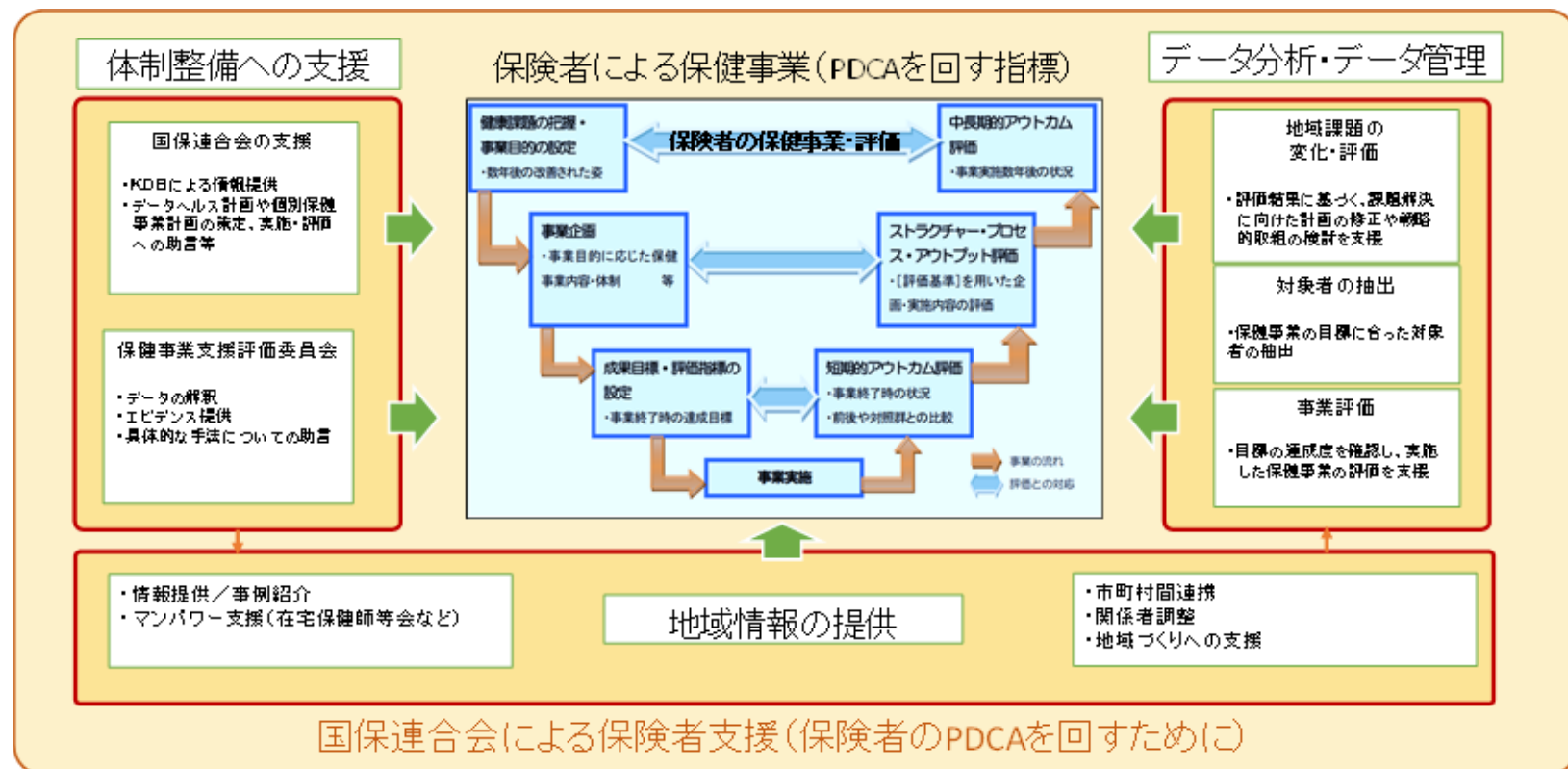


## 参考4 国保連合会による保険者支援

国保連合会は、俯瞰的な立場から個々の保険者への保健事業支援について助言を行う。  
国保連合会が行う保険者支援で求められる内容としては以下の3つがある。

- 体制整備への支援
- 地域情報の提供
- KDBシステムによるデータ分析・データ管理

### 国保連合会による保険者支援



## 参考5 国保連合会における支援指標等の現状

### 参考①：国保連合会における支援指標の現状

令和6年度の課部長会議の事前アンケートでは、国保連合会の支援計画の指標として以下のような項目が挙げられている。これらをもとに支援指標を整理したうえで、ヘルスサポート事業運営委員会で検討することとしたい。

支援の保険者の計画・事業実施への反映	保険者の能力向上	支援等の件数	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>「助言を受けその内容を反映した事業がある保険者」の率 ■</li> <li>「年度以降反映する予定の事業がある保険者」の率</li> <li>保険者での助言反映状況 ■</li> <li>研修をデータヘルス計画策定に活用した保険者の率</li> <li>県内保険者のすべてが第3期データヘルス計画を策定する ■</li> <li>県内市町村のすべてが令和6年度以降受託予定となる</li> <li>個別支援の助言の反映の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「助言を受け、方向性ややり取りの確認ができた保険者」の率 ■</li> <li>委員会の助言を受け事業の方向性を確認および変更できる保険者の率</li> <li>全保険者が個別の保健事業計画を含むデータヘルス計画を策定することができる ■</li> <li>「共通様式」を全保険者が使い、共通指標と自ら決めた目標値が設定できる</li> <li>前計画の事業結果を自己評価し、事業の振り返りを深めることができる</li> <li>事業の振り返りを他保険者と共有し、情報交換ができる</li> <li>委員会等活用保険者の拡充（市町の90%上） ■</li> <li>全第2期DH計画最終評価が行うことができる ■</li> <li>第4期DH計画を策定することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援方法・回数・内容 ■</li> <li>支援保険者数・支援率、支援実施状況、申請事業への支援実施状況 ■</li> <li>研修会参加保険者数（目標比）</li> <li>研修会アンケート回収率</li> <li>参加保険者数 ■</li> <li>支援希望保険者数、個別巡回支援での支援者数、県保健所の参加状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会の体制・役割分担、関係機関との連携状況、委員会の運営手順や状況</li> <li>年間計画の実施状況、委員会の事前準備状況</li> <li>スケジュール管理をするとともに、期限を設けた目標設定を行う。</li> <li>数値目標は設定しておらず、以下の支援目標を定め年度末に保険者と委員に調査を行い評価。 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓保険者が満足できる支援（助言内容、支援実施時間など）か</li> <li>✓委員担当制は、保険者をより把握し効果的な支援となっているか</li> <li>✓Q&amp;A集、県の保険者基礎データ一覧は、保険者の参考となり、データヘルス推進に向けた一助となっているか</li> </ul> </li> <li>保険者へ確認アンケート（内容：実施形態、運営方法、助言の反映及び反映できない理由、満足度、要望等）を実施</li> </ul>
		<b>保険者による評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保険者ニーズ（PDCA）の解決状況、保険者の満足度</li> <li>助言は保険者にとって活用できるものだったと回答した保険者の率 ■</li> <li>研修会の内容が「理解できた」保険者の率</li> <li>保険者が満足できる支援か（助言内容、支援実施時間など）</li> </ul>	
		<b>健康指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高血圧Ⅱ度以上未治療者の減少</li> <li>保健指導の介入による血圧値の改善</li> </ul>	

#### 凡 例

- データヘルス計画関連として設定している指標
- ヘルスサポート事業報告から把握できる指標

## 参考②：データヘルス計画における評価指標例

国のデータヘルス計画策定の手引きにおいて、データヘルス計画の評価指標例が示されている。

- 国民健康保険保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き（令和5年5月18日）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_32950.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32950.html)
- 高齢者保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き（令和5年3月30日）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_32281.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32281.html)

また、国保中央会が作成した以下資料についても参照されたい。

- 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業ガイドライン（令和5年4月）  
別添資料「KDBシステム等を活用した共通評価指標例等の確認方法について（国保）」  
別添資料「KDBシステム等を活用した共通評価指標例等の確認方法について（後期）」  
<https://www.kokuho.or.jp/hoken/support.html>

(補足)

第21回国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会  
ワーキング・グループ（令和6年10月7日）からの変更点

## 第21回国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会ワーキング・グループ

### 保険者支援ステージ・支援指標の定義

項目	定義	ねらい
<b>保険者支援ステージ</b>	保険者支援の達成状況・成果をとらえるための国保連合会の成長ステージ。 支援ステージには、個別保険者の支援ステージ、管内保険者全体の支援ステージの2つがある。	国保連合会が自らの状況を的確にとらえ、支援の対象や目標を明確にしてそれを意識して保険者支援を発展させていく。
<b>支援指標</b>	保険者支援ステージに即して国保連合会がどのステージにいるかを客観的に示す共通の支援指標。	支援指標をもとに適切な評価、改善（C→A）を行う。また、年度単位・中長期の計画を立てることでPDCAを回していくことにつなげる。

## 第29回国保・後期高齢ヘルスサポート事業運営委員会

### 保険者支援ステージ・支援指標の定義

項目	定義	ねらい
<b>保険者支援ステージ</b>	国保連合会による戦略的な保険者支援を実現するためのステージ。	国保連合会が自らの状況を的確にとらえ、支援の対象や目標を明確にしてそれを意識して保険者支援をより発展させていく。
<b>支援指標</b>	<p>保険者支援ステージに即して国保連合会がどの程度保険者を支援できたかを客観的に示す共通の支援指標。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>国保連合会の戦略的支援指標</b> 国保連合会がどの程度戦略的支援を実現しているかをとらえる指標。</li> <li>・<b>保険者支援指標</b>（保険者別の支援指標、管内保険者全体の支援指標） 保険者別の支援の成果、および管内保険者全体での支援の成果をとらえる指標。</li> </ul>	支援指標をもとに適切な評価、改善（C→A）を行う。また、年度単位・中長期の計画を立てることでPDCAを回していくことにつなげる。

## 個別保険者の支援ステージ

## 例

B市の場合  
(2024年度)

保険者における保健事業  
実施のステージ（参考）

実績目標の設定は  
できている。

- 実績を目標とした保健事業実施

国保連合会における支援の  
戦略化ステージ

## ステージ 1

## 保険者の依頼に基づく支援

## 達成目標

保険者の課題・ニーズの把握。

KDB等から課題分  
析はできている。  
高血圧が多い。

- データに基づく地域の課題分析ができる

## ステージ 2

保険者の課題・ニーズに  
即した支援（短期的視  
点）

### 達成目標

保険者の課題・ニーズに応じた支援。

課題解決のための具  
体的事業の企画まで  
至っていない。

- 課題解決のための保健事業を企画できる
- 保健事業の評価を行う

### ステージ 3

## 成果目標を意識した支援（中長期的視点）

## 達成目標

保険者によるPDCAの  
実現。

## ステージ 3を目指す

- 自立した保健事業のPDCAの実施

## ステージ 4

## 支援目標に基づくPDCAの実現

### 達成目標

保険者の自立を目指した支援。

## 最終目標

## B市における地域の健康指標の改善・維持

保険者の見守りを  
中心とした支援と  
なる。

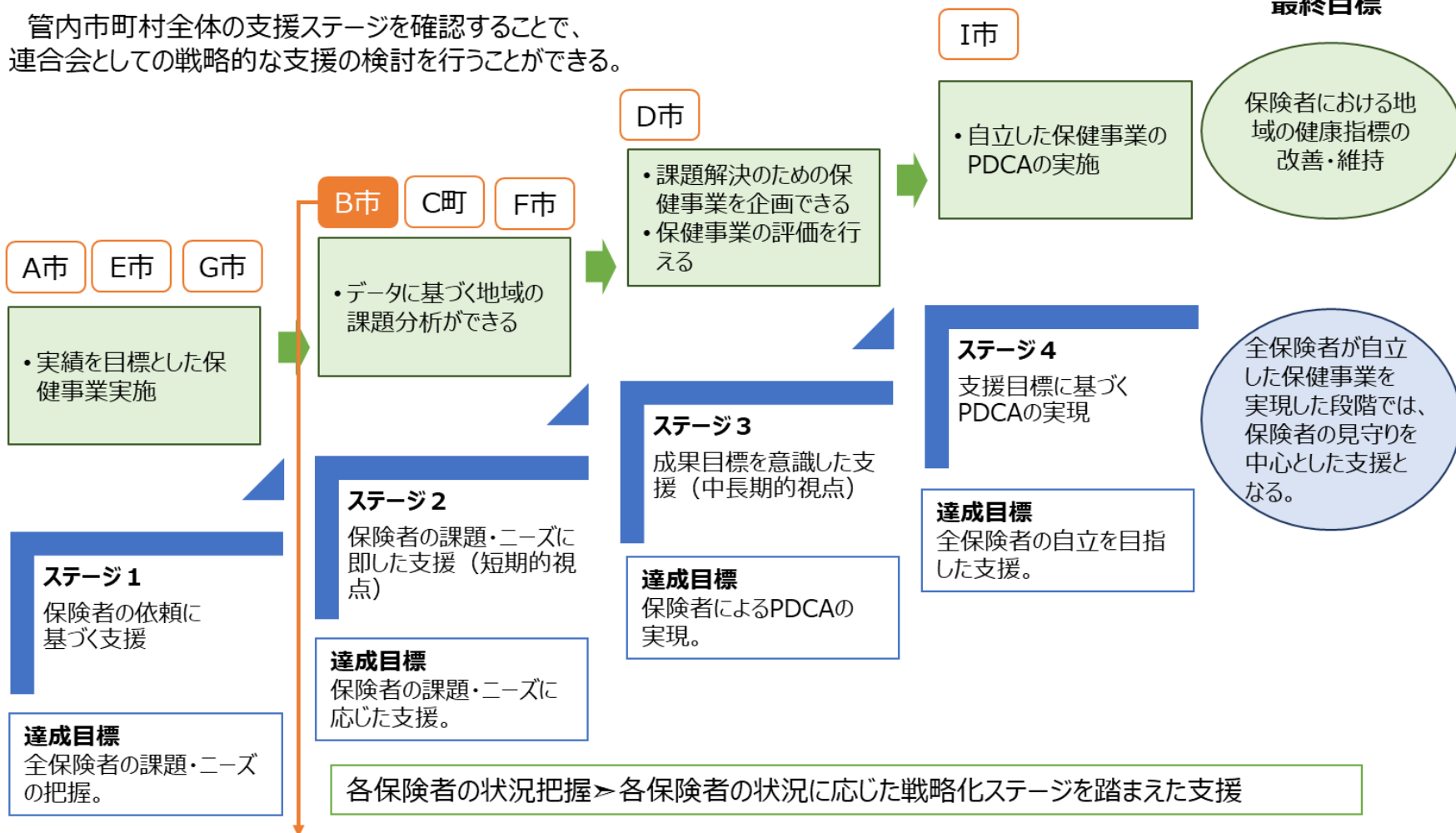
## 管内保険者全体の支援ステージ

管内市町村全体の支援ステージを確認することで、  
連合会としての戦略的な支援の検討を行うことができる。

保険者における保健事業  
実施のステージ（参考）

国保連合会における支援の  
戦略化ステージ

最終目標



### 個別保険者の支援計画（B市）

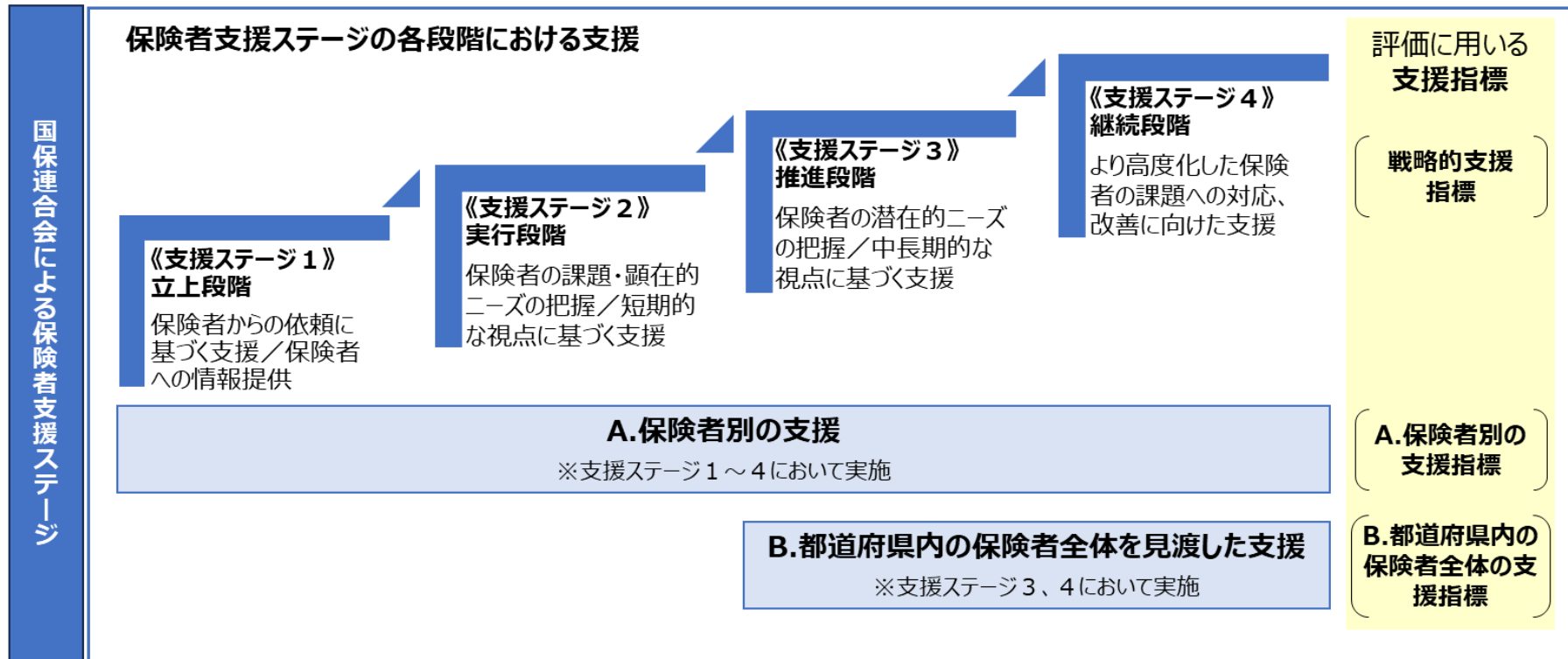
X県国保連合会  
（中長期目標）

- 2025年度の目標 課題解決に向けた中長期的な事業計画をB市が策定できるよう支援（策定支援）、単年度の事業支援
- 2026～2027年度の目標 事業計画の実行、確認、評価（単年度評価の視点）
- 2028～2030年度の目標 事業計画を改良しながら実行していくための支援



## 国保連合会の戦略的支援の全体像（保険者支援ステージと支援指標の関係性）

- ・ 国保連合会は、戦略的支援を行うために自分がどの保険者支援ステージにいるかを確認し、目標を設定し評価する。
- ・ 保険者支援にあたっては、都道府県等との関係機関とも連携しながら、地域全体での支援を行う必要がある。
- ・ 支援目標に基づき、国保連合会が支援する保険者を多角的に判断し、支援対象の保険者を決定する。
- ・ 保険者の保健事業の効率化や質向上につながる支援ができるよう、保険者ごとに最終目標を決めたうえで、各保険者の状況に応じた支援を行う。
- ・ 保険者別の支援状況を集約し、都道府県内の保険者全体の支援状況を評価する。



### 国保中央会による支援

国保中央会は、ヘルスサポート事業運営委員会や国保連合会、保険者向けの研修会等を通じて国保連合会が保険者を円滑に支援できるよう、積極的に支援する。



## 第21回国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会ワーキング・グループ

### 支援指標（例）

評価項目	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 4
保険者ごとの課題把握と解決	保険者ごとの依頼に応じて支援を行っている。	保険者ごとの保健事業の課題・ニーズをとらえた支援を行っている。	保険者ごとの保健事業の達成目標につなげることを意識した支援を行っている。	支援が個別の保険者ごとの保健事業の目標の達成に結びついている。
都道府県内の保険者の課題把握	—	都道府県内の保険者の保健事業の課題・ニーズをとらえた支援を行っている。	都道府県内の保険者の保健事業の達成目標を意識した支援を行っている。	支援が都道府県内の保険者の保健事業の目標達成に結びついている。
関係機関との一体的推進	—	保険者の保健事業支援を行う他の機関の状況を分析し理解している。	国保連合会の持っている強みを分析し、支援対象、支援方法等に反映している。	関係機関との関係において、国保連合会の強み・支援の意義を明確にして支援を行っている。
支援計画の策定	—	年度単位の支援計画を立てている。	課題把握等の項目を踏まえて中・長期の支援計画を立てている。	保険者支援の中・長期支援の計画に基づくPDCAが効果的に行えている。
支援計画に基づくPDCA	—	単年度計画の達成状況を翌年度の計画に反映している。	中・長期の支援計画に対し計画期間中に評価・見直しを行っている。	同上

## 第29回国保・後期高齢ヘルスサポート事業運営委員会

### 国保連合会の戦略的支援指標（イメージ）

項目	《支援ステージ1》 立上段階	《支援ステージ2》 実行段階	《支援ステージ3》 推進段階	《支援ステージ4》 継続段階
① 保険者からの依頼に基づき支援しており、保険者への情報提供を行っている。	○	○	○	○
② 地域の健康課題を明確にとらえ、地域の特性を踏まえた保険者支援を行っている。		○	○	○
③ 都道府県との連携体制を構築し、役割分担が明確にできている。		○	○	○
④ 地域の健康課題を踏まえ、その対応策としての年度単位の支援計画を立てている。*		○	○	○
⑤ 年度単位で保険者支援の目標設定、評価、次年度への反映を行っている。*		○	○	○
⑥ 年度単位で保険者から客観的な評価を受けている。		○	○	○
⑦ 各保険者の立ち位置（ステージ）を把握している。			○	○
⑧ 都道府県以外の複数の関係機関（民間事業者を含む）との連携体制を構築している。			○	○
⑨ 地域の健康課題に即して、中長期の目標を明確にした支援計画を立てている。*			○	○
⑩ 中長期計画について定期的に保険者支援の評価・見直しを行っている。*			○	○
⑪ 中長期計画について保険者から定期的に客観的な評価を受けている。			○	○
⑫ 保険者のより高度化した課題に対応し、改善に向けた支援を行っている。				○
⑬ 未達の目標に対して実現のための対策を検討し、達成した目標に対して国保連合会として新たな目標設定をしている。				○